

県民の森 花ごよみ 8月号

～今日はこんな花(実)が見られます～



ワレモコウ

関東ではエンジ色であるが、北に向かうにつれて花色の紅があざやかになる。根には多くのタンニンを含むので止血剤になる。〈バラ科〉



キツネノマゴ

道ばたなどにふつうに見られる高さ10～40cmの一年草。ハナバチが花粉を運ぶ。〈キツネノマゴ科〉



センニンソウ

日当たりのよいところに生えるつる性の半低木。花が終わると花柱がのび、白くて長い毛が密生する。仙人の毛にたとえたとか、白髪にたとえたとかいわれる。茎や葉に皮ふにかぶれを起こす有毒物質を含む。薬用とする。〈キク科〉



クサギ

枝や葉をちぎると強い臭気があることから名付けられた。花は夕方開く。10～11月に熟す藍色の果実も美しい。落葉小高木。〈クマツヅラ科〉



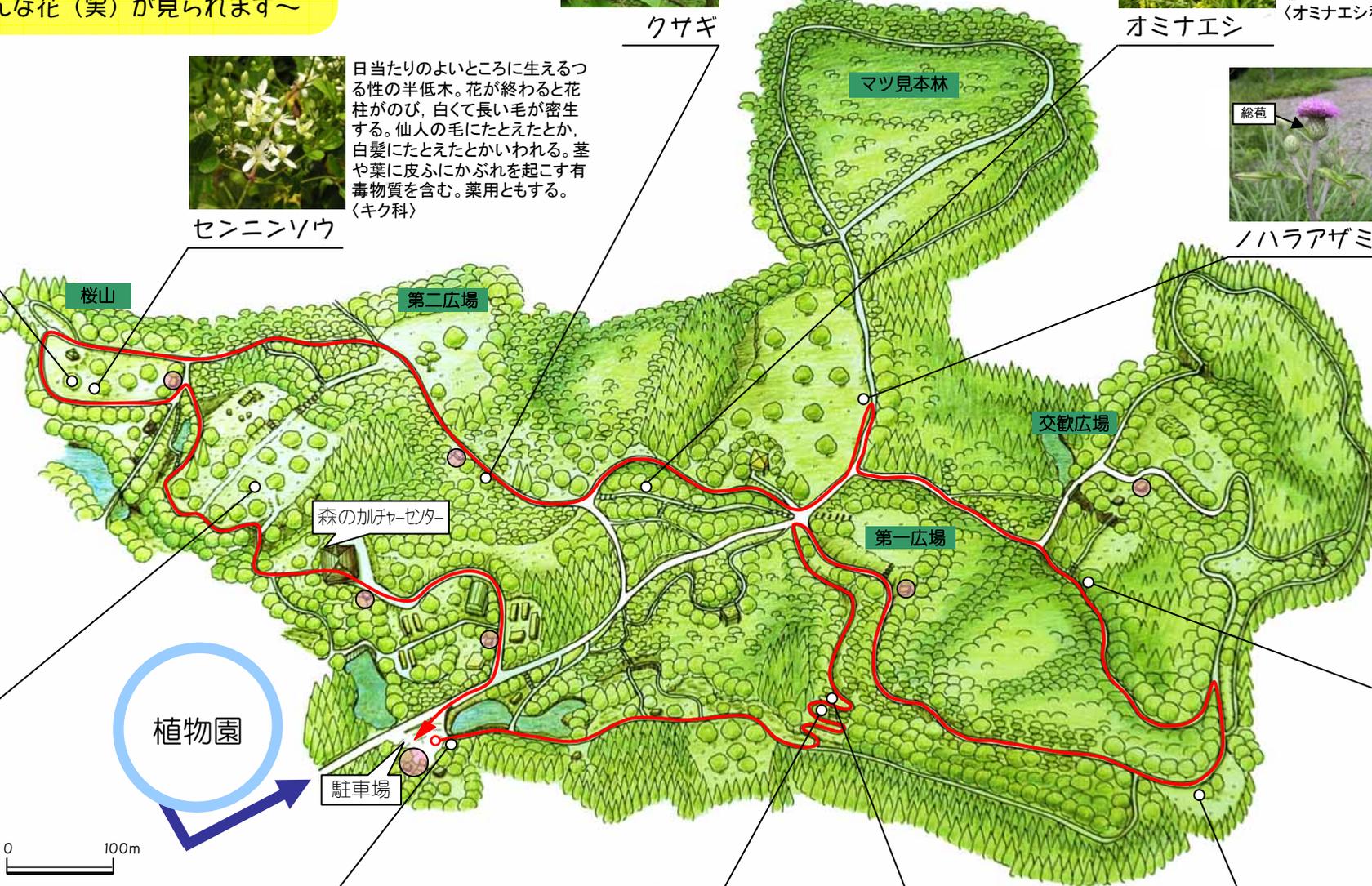
オミナエシ

秋の七草のひとつ。葉を生干しにしたり、生け花にしたものは切り口から悪臭を出す。根茎は横にはい、株のそばで新苗をつくってふえる。〈オミナエシ科〉



ノハラアザミ

中部地方以北に分布。春から初夏にかけて咲くのはノアザミ。ノアザミは総苞(そうぼう)が粘るが、ノハラアザミは粘らない。花期:8月～10月。〈キク科〉



植物園

駐車場

ツルボ

ヨシヤマゴホウ

ヤマハギ

コマツナギ

● トイレ

モデルコース:歩いて約90分

発行:茨城県植物園管理事務所



別名:サンダイガサ
高さ20～40cmの多年草。ツルボの語源は不明。別名の参内傘とは、公家が参内するとき従者がさしかけた長い柄の傘をたんだ形と花序が似ていることによる。〈ユリ科〉



北アメリカ原産の多年草で、明治初期に渡来した。高さ1～2mになる。根はゴボウに似ているが有毒。果実は黒紫色に熟し、つぶすと紅紫色の汁がでる。〈ヤマゴボウ科〉



高さ1～2m。日本の山野にふつうにみられるハギ。秋に黄葉し、冬には枝の大部分は枯れてしまう。〈マメ科〉



高さ40～80cmの草本状の小低木。名は、茎は細いが馬をつなげるほど丈夫なことによる。日当たりがよく、やや乾いたところに群生する。〈マメ科〉



ヤブラン

庭や公園などに下草としてよく植えられている。山野の木陰に生える多年草。花茎(かけい)は高さ30～50cm。〈ユリ科〉